

ダービー王・山口拳が凱旋

大垣競輪場開設71周年記念「水都大垣杯」は、6月3日〜6日の日程で開催される。今シリーズはダービー王に輝いたばかりの山口拳矢が登壇。ホームバンクの記念で地元ファンの声援にこたえるべく、地元Vに邁進する。もちろん、松浦悠士、郡司浩平のSS班も黙ってはいないし、3月の当所記念を制した犬伏湧也も元氣一杯。興味津々のV争いだ。また、最終日第9レースにてレインボーカップA級ファイナルが行われる。A級選手の頂点を決める一発勝負も見逃せない。

やや伸び悩んでいたときもあった山口拳矢だが、2月伊東G3でG3初Vを達成すると、その後は成績がうなぎ登り。同月別

府でも優勝をものにする。3月当所記念①③④⑤、勢いはとどまるところを知らず、4月福井、同月富山を連覇。更にダービー①③②①着では、タイトルホルダーの仲間入りを果たし、グランプリの出場権を手中に修めた。決勝は単騎ながら、レースを掌握した犬伏湧也、清水裕、香川雄の中四国勢に続いた嗅覚は素晴らしかったし、直線で鋭く伸びて突き抜けたスピードも申し分なかった。今の充実ぶりなら主役を務めるとみて中心視した。



山口拳矢

今年滑り出しで躍った松浦悠士ながら、ウィナーズカップで優勝すると、3月玉野記念③②②着、4月高知記念②①②着とようやく軌道に乗った。しかしながら、4月武雄記念の準決で落車のアクシデントに見舞われた。ダービーはこの後遺症があったのか、動きは今ひとつで⑤②⑦着と未勝利に終わっている。体調には一抹の不安が残るものの、修正能力の高さには定評があるし、犬伏との連係が叶うようなら展開の利を得られる可能性もある。有力な優勝候補であることに変わりはない。その犬伏は3月に開催された70周年大会を制している。決勝は豪快なカマシを決めて2着以下を5車身千切り、上がりタイムは10秒8を叩きだした。古性優、平原康のSS班に山口らの強豪が相手だっただけに価値は高い。その後も豊かなスピード、抜群のダッシュ力を遺憾なく発揮して、ダービーでG1初優勝を果たすと、5月函館記念は④①②③着。函館の決勝は、最終1センターで先頭を躍り出るも援護を失く

して優勝は成らなかったが、航続距離も伸びた印象がある。大会連覇を成し遂げても不思議ではない。渡部哲男はダービー⑦①①⑥着、一般戦、選抜戦ながら2勝をあげている。差し脚はしっかりしている。そうなることは上位進出のチャンスだ。



犬伏湧也

山田久徳、稲川翔の近畿勢も軽視できない。山田はダービー①④③①着。惜しくも二次予選で敗退したものの、機敏な立ち回りと伸びの良さは光っていた。稲川もダービーでは予選を②②着で準決にコマを進めていて調子は良好。二次予選は古性のまくりに食い下がっている。展開がもつれるようだと浮上してきそう。

本来なら本命に推してもおかしくない郡司浩平だが、ダービーの準決で落車し右肩甲骨を骨折。5月函館記念を欠場している。万全な体調での参戦は難しいか。

九州勢は荒井崇博、山田英明、園田匠と個性派ぞろい。攻め口多彩な山田が先頭で戦いそうだが、他地区の自力型との比較ではやや見劣りする。



松浦悠士

大垣競輪開設71周年記念
水都大垣杯
2023 6/3日・4日・5日・6日

主力メンバー		※2023年5月22日現在	
荒井崇博	山田英明	犬伏湧也	稲川翔
山口拳矢	吉澤純平	松浦悠士	郡司浩平
佐藤慎太郎	松浦悠士	郡司浩平	佐藤慎太郎

水都大垣杯 出場予定選手										※2023年5月22日現在									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点					
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	115.90	S2	齊藤竜也	神奈川	73期	99.36	S2	高市訓但	愛媛	97期	95.10					
SS	松浦悠士	広島	98期	115.88	S2	西浦仙哉	三重	73期	94.72	S2	森山智徳	熊本	98期	99.13					
SS	郡司浩平	神奈川	99期	117.86	S2	江連和洋	栃木	76期	97.40	S2	三好恵一郎	群馬	99期	97.05					
SS	伏見俊昭	福島	75期	102.78	S2	山内卓也	愛知	77期	99.69	S2	谷口明正	三重	103期	100.83					
S1	荒井崇博	長崎	82期	113.45	S2	尾崎剛	埼玉	79期	97.00	S2	神田龍	三重	105期	100.50					
S1	渡部哲男	愛媛	84期	109.95	S2	宮下貴之	埼玉	81期	91.00	S2	小笹隼人	奈良	105期	92.70					
S1	川村晃司	京都	85期	99.32	S2	大坪功一	福岡	81期	102.75	S2	小林史也	和歌山	107期	92.48					
S1	高原仁志	徳島	85期	107.19	S2	大塚英伸	静岡	82期	98.71	S2	吉武信太郎	愛媛	107期	95.86					
S1	岡村潤	静岡	86期	109.82	S2	友定祐己	岡山	82期	100.00	S2	田頭寛之	千葉	109期	93.57					
S1	園田匠	福岡	87期	109.53	S2	大木雅也	静岡	83期	97.61	S2	瀬戸崇作	長崎	109期	102.40					
S1	山崎芳仁	福島	88期	109.90	S2	工藤政志	青森	84期	95.10	S2	川越勇星	神奈川	111期	104.71					
S1	武田豊徳	茨城	88期	109.00	S2	鈴木誠	福島	84期	98.50	S2	小川文太	神奈川	111期	96.38					
S1	柏野智典	岡山	88期	109.37	S2	石毛克幸	千葉	84期	99.81	S2	佐々木堅次	福島	113期	97.50					
S1	山田英明	佐賀	89期	110.39	S2	加藤圭一	神奈川	85期	99.72	S2	河合佑弥	東京	113期	103.60					
S1	稲川翔	大阪	90期	113.95	S2	佐々木晋司	青森	86期	95.89	S2	内山雅貴	静岡	113期	92.38					
S1	阿竹智史	徳島	90期	109.00	S2	真田晃	兵庫	86期	96.60	S2	福永大智	大阪	113期	104.19					
S1	山田久徳	京都	93期	112.21	S2	池田浩士	佐賀	86期	93.90	S2	田中和磨	岡山	113期	94.62					
S1	片岡迪之	岡山	93期	107.31	S2	山賀雅仁	千葉	87期	102.19	S2	藤井将	広島	113期	93.85					
S1	不破将登	岐阜	94期	99.87	S2	長田祐弥	神奈川	87期	96.91	S2	石井洋輝	福島	115期	101.82					
S1	雨谷一樹	栃木	96期	109.39	S2	佐藤友和	岩手	88期	105.79	S2	藤井侑吾	愛知	115期	102.73					
S1	磯田旭	栃木	96期	105.10	S2	小笠正義	千葉	88期	99.84	S2	菅原大也	岡山	115期	92.19					
S1	松谷秀幸	神奈川	96期	112.75	S2	岡本大嗣	東京	88期	102.13	S2	坂本紘規	青森	117期	103.53					
S1	新山将史	青森	98期	106.52	S2	大澤雄大	埼玉	89期	97.23	S2	太田龍希	埼玉	117期	101.33					
S1	竹内雄作	岐阜	99期	102.04	S2	上田国広	三重	89期	104.16	S2	渡邊雅也	静岡	117期	104.76					
S1	吉澤純平	茨城	101期	113.95	S2	筒井裕哉	兵庫	89期	99.94	S2	木村佑来	宮城	119期	96.35					
S1	金子幸央	栃木	101期	104.18	S2	八尋英輔	福岡	89期	95.45	S2	橋本壮史	茨城	119期	105.86					
S1	長尾孝太	岐阜	103期	101.66	S2	朝倉佳弘	東京	90期	100.44	S2	鈴木浩太	千葉	119期	103.84					
S1	石塚輪太郎	和歌山	105期	107.41	S2	齋藤友幸	静岡	90期	94.29	S2	志田龍星	岐阜	119期	106.06					
S1	小川真太郎	徳島	107期	107.83	S2	菅田吉道	宮城	91期	106.63	レインボーカップA級ファイナル									
S1	高橋築	東京	109期	105.37	S2	小野大介	福島	91期	96.13	A1	宿口潤平	埼玉	91期	95.20					
S1	櫻井祐太郎	宮城	117期	102.00	S2	石川雅望	群馬	91期	101.62	A1	今藤康裕	岐阜	99期	95.13					
S1	青野将大	神奈川	117期	107.85	S2	三谷将太	奈良	92期	107.32	A1	坂本修一	岡山	99期	94.25					
S1	橋本優己	岐阜	117期	107.72	S2	関貴之	茨城	93期	101.40	A1	菅原大也	神奈川	107期	95.62					
S1	山口拳矢	岐阜	117期	114.57	S2	蒔田英彦	千葉	93期	98.57	A1	小林令	山梨	109期	95.36					
S1	松本秀之介	熊本	117期	107.20	S2	谷田泰平	岐阜	93期	96.70	A1	上野優太	熊本	113期	95.09					
S1	犬伏湧也	徳島	119期	115.37	S2	水谷好宏	大阪	93期	99.00	A1	鈴木玄人	東京	117期	95.06					
S2	武田哲二	京都	65期	94.10	S2	桶谷明誉	広島	94期	98.95	A1	村田瑞季	京都	117期	95.53					
S2	山口富生	岐阜	68期	105.04	S2	金子哲大	埼玉	95期	96.00	A1	中島詩音	山梨	119期	96.60					
S2	水谷良和	愛知	70期	98.60	S2	塚本大樹	熊本	96期	104.62										
S2	伊藤正樹	愛知	71期	98.02	S2	鈴木謙二	東京	97期	97.50										

直近12場所成績
111110
7101110
3603

橋本 優己 (岐阜/117期)

ダービーは初参戦ながら①③着で準決にコマを進めた。一次予選では北井佑の逃げをまくりで仕留めている。予選は主力になるし、準決でも一発の魅力を秘めている。



橋本 壮史 (茨城/119期)

4月久留米では1①③①着とブレイク。G3初参戦で優勝する快挙を達成した。続く5月富山1②④着の動きも悪くなく、機動力を遺憾なく発揮なら格上撃破も。



渡邊 雅也 (静岡/117期)

S級2期目の今期は、予選で勝ち星が増えた。5月函館記念では一次予選、二次予選を連勝している。父(晴智・73期)譲りのレースセンスと切れ味で今節も大暴れか。

レインボーカップA級ファイナル

勢いがある山梨コンビ

出場予定選手詳細 ※2023年5月22日現在											
上野 優太	坂本 修一	村田 瑞季	今藤 康裕	菅原 大也	中島 詩音	小林 令	鈴木 玄人	宿口 潤平	主力選手プロフィール		
熊本市 26	岡山市 35	京都市 26	岐阜市 37	山梨市 25	山梨市 27	山梨市 27	東京都 27	埼玉県 41	ヤマガチ 41	ヤマガチ 41	ヤマガチ 41
113期 165cm74	99期 170cm73	117期 175cm84	99期 174cm72	107期 170cm82	119期 174cm76	109期 176cm80	117期 169cm74	91期 174cm72	113期 165cm74	117期 175cm84	99期 174cm72
500	400	400	400	400	400	400	400	500	500	500	500
AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp	AT Sp (S) Sp
95.09	94.25	95.53	95.13	95.62	96.60	95.36	95.06	95.20	95.09	95.13	95.13
99.54	101.27	93.97	95.12	95.09	92.38	101.57	102.71	99.91	99.54	99.54	99.54
95.14	94.81	95.52	94.84	95.62	96.47	95.39	95.22	95.22	95.14	95.14	95.14
1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級	1月降級
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級	3月降級
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級	5月降級
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
72	74	72	70	73	72	73	73	75	72	74	72
00013	01013	02010	00011	00705	02014	02012	04036	00013	00013	00013	00013
07120	04116	06440	00011	04240	09900	01505	06901	02196	07120	04116	06440
07010	03080	09340	00070	03120	03800	02800	02400	02140	07010	03080	09340
62 18 18	32 11 11	44 28 16	35 8 7	59 16 16	58 37 21	34 10 10	33 10 6	44 16 16	62 18 18	32 11 11	44 28 16
65 1 1	61 10 10	66 18 6	6 6 5	74 4 4	77 7 7	72 11 11	88 11 10	88 11 10	65 1 1	61 10 10	66 18 6
75 3 0	85 8 8	80 15 5	80 4 4	85 4 4	88 6 4	86 4 4	88 8 2	88 8 2	75 3 0	85 8 8	80 15 5
5 5 5	4 4 4	5 5 5	5 3 3	4 4 4	15 4 4	15 4 4	3 3 3	5 5 5	5 5 5	4 4 4	5 5 5
決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予	決準特予
9 10 10	11 11 12	11 12 12	5 7 7 0	8 9 9 0	12 12 7 5	9 10 10 0	6 6 6 0	11 12 12 0	9 10 10	11 11 12	11 12 12
6 9 4 0	5 10 6 0	5 10 8 0	3 4 4 0	4 8 7 0	6 12 6 4	6 8 7 0	5 6 5 0	6 9 11 0	6 9 4 0	5 10 6 0	5 10 8 0
出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対	出場対
29 18 1 3	34 11 10 8	4 7 3 1 0	22 6 4 0	26 15 4 3	7 1 3 6 15 6	29 10 11 4	27 10 11 1	35 15 11 4	29 18 1 3	34 11 10 8	4 7 3 1 0
0 0 0 0	0 0 0 0	4 3 1 0	3 2 0 0	1 1 0 0	4 1 2 0	0 0 0 0	2 0 0 1	1 1 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	4 3 1 0
18 0 117	9 0 233	22 5 85	8 1 149	3 0 154	28 1 80	6 0 95	6 0 67	12 0 213	18 0 117	9 0 233	22 5 85
1 0 49	10 0 150	14 4 48	8 1 117	1 0 66	10 1 21	8 1 0 95	6 0 36	10 0 211	1 0 49	10 0 150	14 4 48
3 0 0 167	5 0 129	12 0 56	3 1 125	1 0 61	4 1 15	4 1 0 54	4 0 15	4 0 167	3 0 0 167	5 0 129	12 0 56
671万	687万	509万	421万	616万	559万	590万	363万	788万	671万	687万	509万
11秒0	10秒7	11秒3	11秒1	11秒0	11秒0	11秒2	11秒0	11秒1	11秒0	10秒7	11秒3
自在	自在	逃捲	追捲	逃捲	逃捲	自在	逃捲	追捲	自在	自在	逃捲

1月〜3月の平均競走得点上位9名による頂上決戦。さすがに一騎当千のメンバーがそろった中、菅原大也、今藤康裕の2人は来期もA級でS級への勝負駆けになる。さて、V争いの中心となるのは中島詩音、小林令の山梨コンビだろう。とにかく中島の勢いは凄まじい。1月平塚MNから4月玉野MNまで5連続優勝。5月西武園は①①⑥着でVは止まったものの、関東結束で地元の3人を連れて気風良く駆けたもので、まだまだ無双状態は続きそう。鈴木玄人、宿口潤平の埼京勢とは別線でライン2車になっても、自分のレースタイルを崩さず積極策で勝負している。中島は主権なら小林にも絶対のV機だ。両者は3月高知MN、4月前橋MNの初日特選、決勝と4回連係して全てワンツー。優勝はともに中島だったが星的には五分五分。中島が先行した場合は小林が差している。準V



中島 詩音



今藤 康裕

6回で今期はVがない小林だけに、気持ち良く勝ってS級に復帰したい。また、埼京勢も有力なV候補だ。鈴木も今期は6場所準V5回ともどかしい状況だが、S級でも優勝していた実力は十分示している。A級では差し脚上位の宿口を連れて一撃を決めるか。今藤に命運を託されそうな村田瑞季も燃える。先行勝負を貫いて初のS級昇級を決めた村田は強力関東勢が相手でも一歩も引かないだろう。最近まくりに戻ったレースでは優勝を外していないが、ここまで先を見据えてやってきた事を考えれば、先手を奪ってケレン味なく駆けていくだけ。4月四日市を制するなど動き軽快な今藤は勝機を生かしたい。他の3人は出方が流動的。今期V5と勝負強い上野優太、安定抜群の坂本修一は自在にまずは好位狙いか。注目の菅原は長欠明けでいきなり連続優勝した時のような思い切った仕掛けが単騎戦でもできれば道は開ける。